

日本福祉大学社会福祉学部

『日本福祉大学社会福祉論集』第134号 2016年3月

〈研究ノート〉

# 相談援助実習を通して実習生は利用者の権利等を認識し 言語化できるようになるのか

—— 実習報告書のテキストマイニングを通して確認できること ——

久保隆志

## 要 旨

本研究の目的は、相談援助実習終了後の実習生が作成する実習報告書のテキストマイニングを通して、実習終了後に形成されると考えられる利用者の権利等に関連する記述を探索し出現状況を把握することにある。同時にそれらの探索を行うことにより、利用者の権利等に関する意識の形成方法について若干の整理を行うことで以降の研究方法を検討していくことを目的とした。

テキストマイニングの対象となった実習報告書は、A大学三年次生18名とB大学三年次生32名が相談援助実習終了後に作成したものである。結果として相談援助実習を終えた実習生が、利用者の権利等について認識し、それらを言語化することに一定の限界があることを見出した。また一般社団法人日本社会福祉士養成校協会が受託した、(公財)社会福祉振興・試験センター 平成26年度社会福祉振興関係調査研究助成金事業「社会福祉士養成新カリキュラムの教育実態の把握と、社会福祉士に必要な教育内容のあり方に関する調査事業」の調査研究からも同様のことを確認することができた。

以上のことを踏まえて実習生が利用者の権利等について認識する方法を模索した。

キーワード：実習報告書、テキストマイニング、利用者、権利等、言語化

## I. はじめに

2008年には、現行の社会福祉士養成課程の教育カリキュラム（以下、新カリキュラム）導入に合わせてカリキュラムの見直しが提案された<sup>1)</sup>。その中で、社会福祉士に求められる社会的な役割の変化と養成課程に関する変化が明記されている。

前者に関しては①福祉課題を抱えた者からの相談に応じ、必要に応じてサービス利用を支援す

るなど、その解決を自ら支援する役割、②利用者がその有する能力に応じて、尊厳を持った自立生活を営むことができるよう、関係する様々な専門職や事業者、ボランティア等との連携を図り、自ら解決することのできない課題については当該担当者への橋渡しを行い、総合的かつ包括的に援助していく役割、③地域の福祉課題の把握や社会資源の調整・開発、ネットワークの形成を図るなど、地域福祉の増進に働きかける役割等を適切に果たしていくことが求められている。

また後者に関しては①福祉課題を抱えた者からの相談への対応や、これを受けて総合的かつ包括的にサービスを提供することの必要性、その在り方等に係る専門的知識、②虐待防止、就労支援、権利擁護、孤立防止、生きがい創出、健康維持等に関わる関連サービスに関わる基礎的知識、③福祉課題を抱えた者からの相談に応じ、利用者の自立支援の観点から地域において適切なサービスの選択を支援する技術、④サービス提供者間のネットワークの形成を図る技術、⑤地域の福祉ニーズを把握し、不足するサービスの創出を働きかける技術、⑥専門職としての高い自覚と倫理の確立や利用者本位の立場に立った活動の実践等を実践的に教育していく必要があるとされている。

さらに2007年の段階では「社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律」（平成19年法律第125号）が公布、施行された。同法では、社会福祉士の義務規定の見直しが行われ、誠実義務の概念が新たに追加された。誠実義務はその担当する者が個人の尊厳を保持し、その有する能力及び適性に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立って、誠実にその業務を行わなければならないとされている（社会福祉士及び介護福祉士法 第44条2項）。

このように現行の社会福祉士養成課程と社会福祉士に関連する規定には、利用者<sup>2)</sup>の「人権」<sup>3)</sup>や「権利」<sup>4)</sup>に関する記述が確実に見受けられる（以下、利用者の権利等<sup>5)</sup>）。

新カリキュラムでは、関連する多くの科目において利用者<sup>6)</sup>の権利等に関して学ぶ機会が設定されている。つまり社会福祉士養成に関連する科目を履修することによって、知識として利用者の権利等に関して触れることができるはずなのだ。

また日本では義務教育の段階から人権教育<sup>7)</sup>が行われ、それに即して自らのみならず他者の権利等に関する意識についても醸成される基盤が存在する。本論ではその基盤の是非について論じることが行わない。しかし、そういった基盤があることは重要であるのと同時に社会福祉士養成のシステムにも一定の影響があるのも事実だと考えている。

前述してきたように、新カリキュラム上で利用者の権利等を学ぶ以前から第三者のそれに配慮するための教育的なシステムが既に成立しているのである。

ところが新カリキュラムに設定されている相談援助実習では実習前、実習中、実習後を通して実習生の自発的な発言として利用者の権利等に関する話題を確認することが難しい。例えば相談援助実習中の実習巡回や帰校日指導の段階で言及されやすい内容としては、利用者との関係性、職員との関係性や実習中の苦痛等の直接的な体験に伴う比較的言語化しやすいものである。直接的な体験は言及されやすく、同時に伝えやすい内容であるためだと推測される。

利用者の権利等に関しては、そもそも認識が難しく、実習中においても直接的な体験をすることも少ない。仮に直接的な体験があったとしても、それを言語化するための妥当な概念が備わっていないと思われる。

そもそも利用者の権利等と言っても、想起される内容は多岐に渡るだろう。例えば法学的な視点、社会学的な視点で分類してもよい。人権や子ども権利、生存権という者もいるかもしれない。また実習生が利用者の権利等を認識するときに、何を想定しているのだろうか。そして実習生は利用者の権利等を感じ取るための環境を与えられているのであろうか。

本研究では、前述したような複雑な要因を検討する前段階として実習報告書内に利用者の人権等に関連する記述の有無をテキストマイニングの手法を用いて探索していきたい。言語化された情報をテキストマイニングにより、可視化することが可能となる。具体的には、相談援助実習終了後に実習生が作成した実習報告書を通して、利用者の権利等に関する記述量の確認を行うのと同時に、実習生に利用者の権利等を想起してもらうための方法を模索したい。

## 1. 先行研究

先行研究を確認するために CiNii を用い、以下の二点について整理した。文中の CiNii に関する記述は、2015 年 10 月 31 日現在の検索結果である。

### 1) 実習生が認識する利用者の権利等について：

CiNii のウェブサイトで、①「実習」と「人権」、②「実習」と「権利」、③「実習」と「尊厳」という三通りの検索を行った。いずれの組み合わせの場合も、タイトルに該当する単語が含まれることを前提とした。

①は 23 件（1973 年から 2015 年発表）、②は 31 件（2000 年から 2015 年発表）、③は 1 件（2000 年発表）となった。

さらに今回の研究と関連があると思われる福祉、医療、保育、教育等の語彙で検索対象を限定した場合は、次の通りである。①は 13 件、②は 15 件、③は 1 件であった。

ここでいう「実習生」は相談援助実習の実習生を想定した。しかし上記検索方法では新カリキュラムで行われている相談援助実習の実習生を同定できる記述は見受けられなかった。

いずれの分野によらず、実習生が利用者の権利等を認識する重要性和教育上の課題が存在することは明らかになった（村上ら 2000、村田 2012、吉村ら 2014）。

さらに実習生はいわゆる現場において利用者の権利等に関して何らかの侵害的行為を見聞きしており、養成組織による人権教育の充実が必要との研究結果もあった（大和田ら 2008）。

また実習生のみならず現場の職員も利用者の権利等に対して曖昧な理解レベルであり、時としてそれを侵害してしまう可能性も示唆されていた（山本 2011）。

## 2) 実習報告書とテキストマイニングについて：

CiNii のウェブサイトで、「実習」「報告」「社会福祉」という語彙をタイトルに含んでいる文献を検索した。その結果は51件であった（1985年から2014年発表）。社会福祉士養成課程の実習終了後に作成される実習報告書を明確に使用したタイトルは1件のみであった（2009年発表）。検索対象をフリーワードまで広げ、かつ「実習」「報告書」「社会福祉」という語彙に変更した場合は8件まで増加した。

同様に CiNii のウェブサイトで、「実習」「テキストマイニング」という語彙をタイトルに含んでいる文献を検索した。その結果は27件であった（2007年から2015年発表）。いずれも薬学、看護、保育、教育の分野であり社会福祉に関する直接的な検索結果はなかった。また当該検索結果の調査対象は実習中に作成された日誌や自由記述式のアンケートによるものが大半である。

しかし、調査対象の資料が異なる部分があるがテキストマイニングを用いて実習関連の資料を調査することに関しては、一定の有益性が認められた（大瀧ら 2009, 秦ら 2013）。

実習終了直後の時間的経過を経ていない文章（自由記述）を使用することにより、比較的近時の実習情報を集約し分析することができる。同時に大量の文章を一定の手続きを経ることにより、客観性の保持と恣意性を極力排除しながら分析することができる。テキストマイニングの機械的な処理において一定集団の属性や傾向を明らかにすることにより課題やニーズ等を把握することも可能となる（長野ら 2000）。

実習報告書とテキストマイニングを用いた分析手法は比較的新規性が高いといえる。

なお CiNii で検索できなかった資料については、省略している。

次からは、実習報告書のテキストマイニングを行う研究方法についてみていきたい。

## II. 研究方法

### 1. 調査対象と方法

筆者が2014年度に相談援助実習指導及び相談援助実習を担当したA大学 社会福祉学部 社会福祉学科（N = 18）と2012年度に両科目を担当していたB大学 人文学部 福祉文化学科（N = 32, B大学1 = 13, B大学2 = 19）の授業内で作成された実習報告書を調査対象とした（合計 N = 50）。A大学は2014年度作成の実習報告書を、B大学は2012年度作成の実習報告書を使用している。

A大学およびB大学の実習報告書の概要および施設区分等の内訳は、表1の通りである。

前述した実習報告書内部に登場する語彙情報を整理するために、テキスト型（文章型）データを統計的に分析するためのフリーソフトウェアであるKH Coder（Ver.2.00c, 以下KH）<sup>8)</sup>を用いた（樋口 2015）。

樋口（2015）のテキストマイニングによる分析手続きを参考にしつつ、A大学、B大学1お

相談援助実習を通して実習生は利用者の権利等を認識し言語化できるようになるのか

表 1 実習報告書の概要

|       | A 大学（A 4 版 2 頁）   | B 大学 1（A 4 版 2 頁）              | B 大学 2（A 4 版 2 頁）              |
|-------|---|--------------------------------|--------------------------------|
| 年度    | 2014 年度   | 2012 年度                        | 2012 年度                        |
| 施設区分  | 計 18 名分<br>（高齢＝3 名，障害＝15 名）   | 計 13 名<br>（医療＝5 名，高齢＝8 名）      | 計 19 名<br>（高齢＝2 名，地域＝17 名）     |
| 記述項目名 | 1 実習施設の概況と特徴  | 実習施設（機関）の概要                    | 実習施設（機関）の概要                    |
|       | 2 実習の内容   | 実習内容（プログラム）                    | 実習内容（プログラム）                    |
|       | 3 実習課題の達成度  | 実習の課題                          | 実習の課題                          |
|       |   | ※実習課題を整理するとともに課題の自己評価を記述させていた。 | ※実習課題を整理するとともに課題の自己評価を記述させていた。 |
|       | 4 利用者・職員と関わる中で感じたこと，学んだこと   | 実習を通して学んだこと                    | 実習を通して学んだこと                    |
|       | 5 今後の課題   | 今後の課題                          | 今後の課題                          |
| 備考①   | ※ 1. A 大学の施設区分＝高齢は特別養護老人ホームへ 3 名，障害は生活介護へ 10 名，就労継続支援 B 型へ 5 名の配属であった。<br>※ 2. B 大学 1 の施設区分＝医療は病院へ 5 名，高齢は特別養護老人ホームへ 8 名の配属であった。<br>※ 3. B 大学 2 の施設区分＝高齢は特別養護老人ホームが 1 名，小規模多機能型居宅介護が 1 名，地域は市町村社会福祉協議会が 17 名の配属であった。  |                                |                                |
| 備考②   | ※ 1. A 大学と B 大学 1 および B 大学 2 の各指定項目名は異なるため，全て A 大学の項目名に統一をした。<br>※ 2. 調査対象は，筆者の担当クラスのうち研究調査資料として提供の許可があった実習生の報告書のみを使用している。<br>※ 3. A 大学と B 大学 1 および B 大学 2 の実習報告書ともに作成段階において誤字脱字の添削（記述項目名 1～5）を行っている。それ以外の表現に関しては可能な限り学生が作成してきた原文に近い状態とし，加筆修正が必要な場合には学生と協議を行ったうえでやっている（記述項目 3～5）。また平均して 3 回程度の添削を行った。 |                                |                                |

および B 大学 2 の個別での傾向を分析の対象とした。なお KH 内の標準分析ツールを用いて①基本統計量，②頻出 150 語，③特徴語，④共起ネットワーク，そして⑤ KWIC（Keyword in context）コンコーダンスの分析を行った。

なお，分析対象とした実習報告書データは可能な限り原文のまま使用した。ただし，表 1 の備考①『※ 1.』にもあるように A 大学，B 大学 1 および B 大学 2 の記述項目名に関しては全て A 大学の記述項目に統一した。また備考②『※ 3.』にあるように学生の思いや感情等を大切に，可能な限り提出されてきた状態のまま受理している報告書となる。

分析の段階では固有名詞，人名，組織名，地名に関しては品詞による語の取捨選択から除外した。強制抽出する語として人権，権利，尊厳，尊重，成年後見，日常生活，自立という権利等を想起させる語彙を設定した。

## 2. 倫理的配慮

A 大学，B 大学 1 および B 大学 2 において実習報告書を研究分析に用いること，プライバシーを保護し学生や利用者，実習施設に不利益が生じないようにすることを説明し，事前の了解を得ておいた。分析時には，固有名詞や地名，人名等が出現しないように処理を行った。

### 3. 分析結果

#### 1) 基本統計量：

表2はKHの形態素解析の結果である。A大学、B大学1およびB大学2の順番に掲載している。

なお、表の下段にあるH2とH1はKH特有のHTMLマーキングである。見出し部分を含めるためのH1からH5までの5種類のタグが用意されており、今回の分析ではH1とH2を使用した。H1は大学区分のために、H2は実習報告書内に設定されている記述項目名を区分するために使用した（表1）。

表2 抽出語の基本統計量

|   | A大学            | B大学1           | B大学2            |
|---|----------------|----------------|-----------------|
| 総抽出語数（使用）   | 24,530 (9,787) | 17,845 (7,344) | 25,834 (11,452) |
| 異なり語数（使用）   | 1,854 (1,189)  | 1,834 (1,387)  | 2,212 (1,726)   |
| 抽出語の出現回数の平均   | 6.57           | 5.29           | 6.63            |
| 抽出語の出現回数の標準偏  | 26.77          | 16.29          | 24.53           |
| 集計単位：文  | 904            | 667            | 9.0             |
| 集計単位：段階   | 124            | 91             | 133             |
| 集計単位：H2   | 142            | 104            | 152             |
| 集計単位：H1   | 1              | 1              | 1               |
| ※1. タグH1はA大学、B大学1、B大学2の目印として使用した。   |                |                |                 |
| ※2. タグH2は実習報告書の記述項目名にある「実習施設の概況と特徴」「実習の内容」「実習課題の達成度」「利用者・職員と関わる中で感じたこと、学んだこと」「今後の課題」の目印として使用した。 |                |                |                 |
| ※3. 実際の使用方法は例えばタグH2の場合<h2>○○○タイトル等○○○</h2>となる。  |                |                |                 |

#### 2) 抽出語の出現回数と度数：

表3は抽出語の出現回数と度数の状況である。A大学とB大学1およびB大学2ともに比較的に安定した数値となっている。

#### 3) 頻出150語：

表4はA大学、B大学1およびB大学2の上位150語を抽出したものである。それぞれ「利用」や「実習」という単語が上位をしめている。特徴的なのは、B大学2の頻出語に「権利」や「擁護」という単語があることだ。おそらく当該グループの場合には社会福祉協議会での実習生が大半を占めており、権利擁護事業や関連する成年後見制度の事業があるためだと思われる。

#### 4) 特徴語：

表5、表6、表7はそれぞれのグループにおける特徴的な語彙を抽出したものである。共起尺度の一つであるJaccard係数によって抽出されている（それぞれ上位10語がリスト化されている）。なお、各表内の全ての項目が前出のH2タグを用いて区分している。



相談援助実習を通して実習生は利用者の権利等を認識し言語化できるようになるのか

表 3 抽出語の出現回数と度数

| A大学出現回数 |     |       |      |         | B大学1出現回数 |     |       |      |         | B大学2出現回数 |     |       |      |         |
|---------|-----|-------|------|---------|----------|-----|-------|------|---------|----------|-----|-------|------|---------|
| 出現回数    | 度数  | パーセント | 累積度数 | 累積パーセント | 出現回数     | 度数  | パーセント | 累積度数 | 累積パーセント | 出現回数     | 度数  | パーセント | 累積度数 | 累積パーセント |
| 1       | 694 | 46.61 | 694  | 46.61   | 1        | 676 | 48.74 | 676  | 48.74   | 1        | 791 | 45.83 | 791  | 45.83   |
| 2       | 229 | 15.38 | 923  | 61.99   | 2        | 241 | 17.38 | 917  | 66.11   | 2        | 290 | 16.8  | 1081 | 62.63   |
| 3       | 145 | 9.74  | 1068 | 71.73   | 3        | 109 | 7.86  | 1026 | 73.97   | 3        | 157 | 9.1   | 1238 | 71.73   |
| 4       | 94  | 6.31  | 1162 | 78.04   | 4        | 67  | 4.83  | 1093 | 78.8    | 4        | 79  | 4.58  | 1317 | 76.3    |
| 5       | 40  | 2.69  | 1202 | 80.73   | 5        | 54  | 3.89  | 1147 | 82.7    | 5        | 56  | 3.24  | 1373 | 79.55   |
| 6       | 37  | 2.48  | 1239 | 83.21   | 6        | 39  | 2.81  | 1186 | 85.51   | 6        | 53  | 3.07  | 1426 | 82.62   |
| 7       | 34  | 2.28  | 1273 | 85.49   | 7        | 34  | 2.45  | 1220 | 87.96   | 7        | 29  | 1.68  | 1455 | 84.3    |
| 8       | 30  | 2.01  | 1303 | 87.51   | 8        | 9   | 0.65  | 1229 | 88.61   | 8        | 38  | 2.2   | 1493 | 86.5    |
| 9       | 15  | 1.01  | 1318 | 88.52   | 9        | 11  | 0.79  | 1240 | 89.4    | 9        | 21  | 1.22  | 1514 | 87.72   |
| 10      | 16  | 1.07  | 1334 | 89.59   | 10       | 12  | 0.87  | 1252 | 90.27   | 10       | 19  | 1.1   | 1533 | 88.82   |
| 11      | 10  | 0.67  | 1344 | 90.26   | 11       | 13  | 0.94  | 1265 | 91.2    | 11       | 18  | 1.04  | 1551 | 89.86   |
| 12      | 5   | 0.34  | 1349 | 90.6    | 12       | 8   | 0.58  | 1273 | 91.78   | 12       | 10  | 0.58  | 1561 | 90.44   |
| 13      | 9   | 0.6   | 1358 | 91.2    | 13       | 9   | 0.65  | 1282 | 92.43   | 13       | 8   | 0.46  | 1569 | 90.9    |
| 14      | 18  | 1.21  | 1376 | 92.41   | 14       | 2   | 0.14  | 1284 | 92.57   | 14       | 14  | 0.81  | 1583 | 91.71   |
| 15      | 2   | 0.13  | 1378 | 92.55   | 15       | 4   | 0.29  | 1288 | 92.86   | 15       | 10  | 0.58  | 1593 | 92.29   |
| 16      | 7   | 0.47  | 1385 | 93.02   | 16       | 4   | 0.29  | 1292 | 93.15   | 16       | 8   | 0.46  | 1601 | 92.76   |
| 17      | 7   | 0.47  | 1392 | 93.49   | 17       | 7   | 0.5   | 1299 | 93.66   | 17       | 10  | 0.58  | 1611 | 93.34   |
| 18      | 7   | 0.47  | 1399 | 93.96   | 18       | 6   | 0.43  | 1305 | 94.09   | 18       | 8   | 0.46  | 1619 | 93.8    |
| 19      | 8   | 0.54  | 1407 | 94.49   | 19       | 5   | 0.36  | 1310 | 94.45   | 19       | 10  | 0.58  | 1629 | 94.38   |
| 20      | 6   | 0.4   | 1413 | 94.9    | 20       | 7   | 0.5   | 1317 | 94.95   | 20       | 6   | 0.35  | 1635 | 94.73   |
| 21      | 3   | 0.2   | 1416 | 95.1    | 21       | 7   | 0.5   | 1324 | 95.46   | 21       | 6   | 0.35  | 1641 | 95.08   |
| 22      | 4   | 0.27  | 1420 | 95.37   | 22       | 6   | 0.43  | 1330 | 95.89   | 22       | 4   | 0.23  | 1645 | 95.31   |
| 23      | 2   | 0.13  | 1422 | 95.5    | 23       | 2   | 0.14  | 1332 | 96.03   | 23       | 7   | 0.41  | 1652 | 95.71   |
| 24      | 2   | 0.13  | 1424 | 95.63   | 24       | 5   | 0.36  | 1337 | 96.4    | 24       | 4   | 0.23  | 1656 | 95.94   |
| 25      | 2   | 0.13  | 1426 | 95.77   | 25       | 3   | 0.22  | 1340 | 96.61   | 25       | 2   | 0.12  | 1658 | 96.06   |
| 26      | 2   | 0.13  | 1428 | 95.9    | 26       | 1   | 0.07  | 1341 | 96.68   | 26       | 1   | 0.06  | 1659 | 96.12   |
| 27      | 1   | 0.07  | 1429 | 95.97   | 27       | 1   | 0.07  | 1342 | 96.76   | 27       | 2   | 0.12  | 1661 | 96.23   |
| 28      | 5   | 0.34  | 1434 | 96.31   | 28       | 2   | 0.14  | 1344 | 96.9    | 28       | 5   | 0.29  | 1666 | 96.52   |
| 29      | 2   | 0.13  | 1436 | 96.44   | 29       | 2   | 0.14  | 1346 | 97.04   | 29       | 2   | 0.12  | 1668 | 96.64   |
| 30      | 1   | 0.07  | 1437 | 96.51   | 30       | 1   | 0.07  | 1347 | 97.12   | 30       | 4   | 0.23  | 1672 | 96.87   |
| 31      | 3   | 0.2   | 1440 | 96.71   | 32       | 2   | 0.14  | 1349 | 97.26   | 32       | 2   | 0.12  | 1674 | 96.99   |
| 32      | 2   | 0.13  | 1442 | 96.84   | 33       | 2   | 0.14  | 1351 | 97.4    | 33       | 2   | 0.12  | 1676 | 97.1    |
| 33      | 4   | 0.27  | 1446 | 97.11   | 34       | 1   | 0.07  | 1352 | 97.48   | 34       | 1   | 0.06  | 1677 | 97.16   |
| 34      | 1   | 0.07  | 1447 | 97.18   | 35       | 1   | 0.07  | 1353 | 97.55   | 35       | 2   | 0.12  | 1679 | 97.28   |
| 35      | 4   | 0.27  | 1451 | 97.45   | 36       | 2   | 0.14  | 1355 | 97.69   | 36       | 1   | 0.06  | 1680 | 97.33   |
| 36      | 1   | 0.07  | 1452 | 97.52   | 37       | 1   | 0.07  | 1356 | 97.76   | 37       | 1   | 0.06  | 1681 | 97.39   |
| 37      | 2   | 0.13  | 1454 | 97.65   | 39       | 1   | 0.07  | 1357 | 97.84   | 38       | 1   | 0.06  | 1682 | 97.45   |
| 38      | 2   | 0.13  | 1456 | 97.78   | 41       | 1   | 0.07  | 1358 | 97.91   | 41       | 1   | 0.06  | 1683 | 97.51   |
| 39      | 1   | 0.07  | 1457 | 97.85   | 42       | 2   | 0.14  | 1360 | 98.05   | 42       | 2   | 0.12  | 1685 | 97.62   |
| 43      | 1   | 0.07  | 1458 | 97.92   | 43       | 1   | 0.07  | 1361 | 98.13   | 43       | 1   | 0.06  | 1686 | 97.68   |
| 44      | 1   | 0.07  | 1459 | 97.99   | 44       | 2   | 0.14  | 1363 | 98.27   | 44       | 1   | 0.06  | 1687 | 97.74   |
| 52      | 1   | 0.07  | 1460 | 98.05   | 45       | 1   | 0.07  | 1364 | 98.34   | 47       | 1   | 0.06  | 1688 | 97.8    |
| 53      | 1   | 0.07  | 1461 | 98.12   | 48       | 1   | 0.07  | 1365 | 98.41   | 48       | 1   | 0.06  | 1689 | 97.86   |
| 56      | 1   | 0.07  | 1462 | 98.19   | 49       | 1   | 0.07  | 1366 | 98.49   | 49       | 2   | 0.12  | 1691 | 97.97   |
| 58      | 1   | 0.07  | 1463 | 98.25   | 52       | 1   | 0.07  | 1367 | 98.56   | 50       | 3   | 0.17  | 1694 | 98.15   |
| 62      | 3   | 0.2   | 1466 | 98.46   | 53       | 1   | 0.07  | 1368 | 98.63   | 52       | 2   | 0.12  | 1696 | 98.26   |
| 63      | 2   | 0.13  | 1468 | 98.59   | 55       | 1   | 0.07  | 1369 | 98.7    | 56       | 1   | 0.06  | 1697 | 98.32   |
| 75      | 1   | 0.07  | 1469 | 98.66   | 56       | 1   | 0.07  | 1370 | 98.77   | 57       | 1   | 0.06  | 1698 | 98.38   |
| 78      | 1   | 0.07  | 1470 | 98.72   | 57       | 1   | 0.07  | 1371 | 98.85   | 59       | 1   | 0.06  | 1699 | 98.44   |
| 79      | 1   | 0.07  | 1471 | 98.79   | 59       | 1   | 0.07  | 1372 | 98.92   | 71       | 1   | 0.06  | 1700 | 98.49   |
| 81      | 1   | 0.07  | 1472 | 98.86   | 60       | 1   | 0.07  | 1373 | 98.99   | 72       | 1   | 0.06  | 1701 | 98.55   |
| 82      | 2   | 0.13  | 1474 | 98.99   | 68       | 2   | 0.14  | 1375 | 99.13   | 74       | 2   | 0.12  | 1703 | 98.67   |
| 85      | 1   | 0.07  | 1475 | 99.06   | 72       | 1   | 0.07  | 1376 | 99.21   | 76       | 1   | 0.06  | 1704 | 98.73   |
| 95      | 1   | 0.07  | 1476 | 99.13   | 80       | 1   | 0.07  | 1377 | 99.28   | 80       | 1   | 0.06  | 1705 | 98.78   |
| 100     | 1   | 0.07  | 1477 | 99.19   | 81       | 1   | 0.07  | 1378 | 99.35   | 85       | 1   | 0.06  | 1706 | 98.84   |
| 106     | 1   | 0.07  | 1478 | 99.26   | 82       | 1   | 0.07  | 1379 | 99.42   | 87       | 1   | 0.06  | 1707 | 98.9    |
| 116     | 2   | 0.13  | 1480 | 99.4    | 85       | 1   | 0.07  | 1380 | 99.5    | 89       | 1   | 0.06  | 1708 | 98.96   |
| 119     | 1   | 0.07  | 1481 | 99.46   | 92       | 1   | 0.07  | 1381 | 99.57   | 99       | 1   | 0.06  | 1709 | 99.02   |
| 120     | 1   | 0.07  | 1482 | 99.53   | 97       | 1   | 0.07  | 1382 | 99.64   | 106      | 1   | 0.06  | 1710 | 99.07   |
| 163     | 1   | 0.07  | 1483 | 99.6    | 121      | 1   | 0.07  | 1383 | 99.71   | 109      | 1   | 0.06  | 1711 | 99.13   |
| 186     | 1   | 0.07  | 1484 | 99.66   | 142      | 1   | 0.07  | 1384 | 99.78   | 112      | 1   | 0.06  | 1712 | 99.19   |
| 205     | 1   | 0.07  | 1485 | 99.73   | 169      | 1   | 0.07  | 1385 | 99.86   | 113      | 1   | 0.06  | 1713 | 99.25   |
| 215     | 1   | 0.07  | 1486 | 99.8    | 182      | 1   | 0.07  | 1386 | 99.93   | 120      | 1   | 0.06  | 1714 | 99.3    |
| 263     | 1   | 0.07  | 1487 | 99.87   | 395      | 1   | 0.07  | 1387 | 100     | 141      | 1   | 0.06  | 1715 | 99.36   |
| 527     | 1   | 0.07  | 1488 | 99.93   |          |     |       |      |         | 144      | 1   | 0.06  | 1716 | 99.42   |
| 630     | 1   | 0.07  | 1489 | 100     |          |     |       |      |         | 152      | 3   | 0.17  | 1719 | 99.59   |
|         |     |       |      |         |          |     |       |      |         | 154      | 1   | 0.06  | 1720 | 99.65   |
|         |     |       |      |         |          |     |       |      |         | 198      | 1   | 0.06  | 1721 | 99.71   |
|         |     |       |      |         |          |     |       |      |         | 200      | 1   | 0.06  | 1722 | 99.77   |
|         |     |       |      |         |          |     |       |      |         | 227      | 1   | 0.06  | 1723 | 99.83   |
|         |     |       |      |         |          |     |       |      |         | 339      | 1   | 0.06  | 1724 | 99.88   |
|         |     |       |      |         |          |     |       |      |         | 381      | 1   | 0.06  | 1725 | 99.94   |
|         |     |       |      |         |          |     |       |      |         | 588      | 1   | 0.06  | 1726 | 100     |

表4 上位150の抽出語

| A大学抽出語 |      |      |      |       |      | B大学1抽出語 |      |         |      |       |      | B大学2抽出語 |      |        |      |      |      |
|--------|------|------|------|-------|------|---------|------|---------|------|-------|------|---------|------|--------|------|------|------|
| 抽出語    | 出現回数 | 抽出語  | 出現回数 | 抽出語   | 出現回数 | 抽出語     | 出現回数 | 抽出語     | 出現回数 | 抽出語   | 出現回数 | 抽出語     | 出現回数 | 抽出語    | 出現回数 | 抽出語  | 出現回数 |
| 利用     | 527  | 待つ   | 28   | ホーム   | 14   | 利用      | 182  | 同行      | 23   | 福祉    | 13   | 特徴      | 381  | 募金     | 18   |      |      |
| 支援     | 263  | 役割   | 28   | 意思    | 14   | 実習      | 169  | 関係      | 22   | 話す    | 13   | 地域      | 339  | 今回     | 28   | ミニ   | 17   |
| 実習     | 215  | 法人   | 27   | 違う    | 14   | 学ぶ      | 142  | 機能      | 22   | 会話    | 12   | 事業      | 227  | 大学     | 28   | 機能   | 17   |
| 施設     | 163  | 働く   | 26   | 観察    | 14   | 支援      | 97   | 計画      | 22   | 関わり   | 12   | 社会      | 200  | 認知     | 28   | 行政   | 17   |
| 職員     | 120  | 福祉   | 26   | 気持ち   | 14   | 施設      | 92   | 取る      | 22   | 向ける   | 12   | 実習      | 198  | 問題     | 28   | 自立   | 17   |
| 学ぶ     | 119  | 参加   | 25   | 合わせる  | 14   | 患者      | 82   | 特別      | 22   | 退院    | 12   | 利用      | 154  | 子ども    | 27   | 情報   | 17   |
| 障害     | 116  | 時間   | 25   | 作る    | 14   | 介護      | 81   | 必要      | 22   | 把握    | 12   | 支援      | 144  | 積極     | 27   | 組織   | 17   |
| 理解     | 106  | 理念   | 24   | 自立    | 14   | 気持ち     | 72   | 気持ち     | 21   | 流れ    | 12   | 協議      | 141  | 専門     | 26   | 単位   | 17   |
| 考える    | 100  | 大学   | 23   | 質問    | 14   | 行う      | 68   | 居宅      | 21   | 改めて   | 11   | 学ぶ      | 120  | 会議     | 25   | 方々   | 17   |
| 計画     | 95   | 立てる  | 23   | 陣る    | 14   | 病院      | 68   | 高齢      | 21   | 学習    | 11   | 活動      | 112  | 体験     | 25   | 法人   | 17   |
| 行う     | 85   | 対応   | 22   | 他     | 14   | 課題      | 60   | 作成      | 21   | 感情    | 11   | 施設      | 109  | 深める    | 24   | 交流   | 16   |
| 感じる    | 82   | 築く   | 22   | 提供    | 14   | 理解      | 59   | 情報      | 21   | 機関    | 11   | 課題      | 99   | 対応     | 24   | 持つ   | 16   |
| 個別     | 82   | 伝える  | 21   | 難しい   | 14   | 相談      | 57   | 大学      | 21   | 気     | 11   | 感じる     | 89   | 年      | 24   | 主    | 16   |
| 生活     | 81   | 様子   | 22   | 表情    | 14   | 医療      | 56   | サービス    | 20   | 見学    | 11   | 行う      | 87   | 連携     | 24   | 図る   | 16   |
| 作業     | 79   | 区分   | 21   | 話     | 14   | 感じる     | 55   | 見る      | 20   | 自ら    | 11   | 知る      | 85   | 委員     | 23   | 制度   | 16   |
| 課題     | 78   | 言語   | 21   | 一人ひとり | 13   | 地域      | 53   | 今回      | 20   | 職種    | 11   | 職員      | 80   | 援助     | 23   | 多く   | 16   |
| 話し言葉   | 75   | 信頼   | 21   | 言う    | 13   | 家族      | 49   | 専門      | 20   | 対応    | 11   | 参加      | 76   | 解決     | 23   | 中心   | 16   |
| 関わる    | 63   | 見守る  | 20   | 高齢    | 13   | 連携      | 48   | 法人      | 20   | 担当    | 11   | 高齢      | 74   | 関わり    | 23   | 聞く   | 16   |
| 週      | 63   | 現場   | 20   | 主     | 13   | 福祉      | 45   | 面談      | 20   | 入院    | 11   | 住民      | 74   | 計画     | 23   | 印象   | 15   |
| 知る     | 62   | 種別   | 20   | 場     | 13   | 事業      | 44   | 様々      | 20   | 入所    | 11   | サービス    | 71   | 健康     | 23   | 管理   | 15   |
| 必要     | 62   | 出来る  | 20   | 担当    | 13   | 老人      | 44   | ニーズ     | 19   | 能力    | 11   | 理解      | 59   | 目的     | 23   | 技術   | 15   |
| 地域     | 58   | 方法   | 20   | 注意    | 13   | 月       | 43   | 視点      | 19   | センター  | 10   | センター    | 57   | 権利     | 22   | 居宅   | 15   |
| 関係     | 56   | 運営   | 19   | 同士    | 13   | 自分      | 42   | 人       | 19   | マネジャー | 10   | 介護      | 56   | 大切     | 22   | 自治   | 15   |
| 内容     | 52   | 会議   | 19   | 入所    | 13   | 知る      | 42   | 説明      | 19   | 過程    | 10   | 人       | 52   | 方法     | 22   | 自身   | 15   |
| 人      | 44   | 概況   | 19   | それぞれ  | 12   | 思う      | 41   | 環境      | 18   | 会議    | 10   | 生活      | 52   | 訪問     | 22   | 障る   | 15   |
| 就労     | 43   | 機関   | 19   | 援助    | 12   | 職員      | 39   | 自宅      | 18   | 機会    | 10   | 考える     | 50   | 月      | 21   | 体制   | 15   |
| 関わり    | 39   | 拠点   | 19   | 学習    | 12   | 社会      | 37   | 重要      | 18   | 経験    | 10   | 思う      | 50   | 実態     | 21   | 団体   | 15   |
| 作成     | 38   | 行動   | 19   | 具体    | 12   | 業務      | 36   | 状況      | 18   | 持つ    | 10   | 内容      | 50   | 種別     | 21   | 保健   | 15   |
| 思う     | 38   | 自身   | 19   | 本人    | 12   | 知識      | 35   | 大切      | 18   | 勉強    | 10   | 関わる     | 49   | 説明     | 21   | 一番   | 14   |
| 活動     | 37   | 知的   | 19   | スクウェア | 11   | 訪問      | 34   | 聞く      | 18   | 立場    | 10   | 児童      | 49   | 老人     | 21   | 学習   | 14   |
| 実際     | 37   | 仕事   | 18   | 家族    | 11   | ケア      | 33   | ケース     | 17   | 連絡    | 10   | ボランティア  | 48   | 区分     | 20   | 経験   | 14   |
| 介護     | 36   | 視点   | 18   | 会話    | 11   | ホーム     | 33   | 技術      | 17   | プラン   | 9    | ボランティア  | 47   | 事務所    | 20   | 見る   | 14   |
| 情報     | 35   | 取る   | 18   | 改めて   | 11   | 今後      | 32   | 達成      | 17   | 週     | 9    | 出来る     | 44   | 週      | 20   | 仕事   | 14   |
| 相談     | 35   | 声    | 18   | 繋がり   | 11   | 内容      | 32   | 特徴      | 17   | 身     | 9    | サービス    | 43   | 達成     | 20   | 取り組む | 14   |
| 大切     | 35   | 良い   | 18   | 見学    | 11   | 生活      | 30   | 方法      | 17   | 設定    | 9    | 今後      | 42   | 継続     | 20   | 草刈り  | 14   |
| 連携     | 35   | 継続   | 17   | 困難    | 11   | 考える     | 29   | 面接      | 17   | 伝える   | 9    | 必要      | 42   | たくさん   | 19   | 提供   | 14   |
| アセスメント | 34   | 自閉症  | 17   | 性格    | 11   | 養護      | 29   | 問題      | 17   | 付ける   | 9    | 役割      | 41   | 運営     | 19   | 日常生活 | 14   |
| 事業     | 33   | 重要   | 17   | 面接    | 11   | 体験      | 28   | 調整      | 16   | 報告    | 9    | 様々      | 37   | 概況     | 19   | 幅広い  | 14   |
| 多い     | 33   | 積極   | 17   | 確認    | 10   | 年       | 28   | 保険      | 16   | 本人    | 9    | 推進      | 36   | 市町村    | 19   | 分ける  | 14   |
| 特性     | 33   | 把握   | 17   | 距離    | 10   | 関わる     | 27   | アセスメント  | 15   | 目標    | 9    | 障害      | 35   | 世帯     | 19   | 予防   | 14   |
| 特徴     | 33   | 様々   | 17   | 今     | 10   | 役割      | 26   | 受ける     | 15   | 運営    | 8    | 相談      | 35   | 総合     | 19   | 良い   | 14   |
| ニーズ    | 32   | 過ごす  | 16   | 最初    | 10   | 現場      | 25   | 多い      | 15   | 観察    | 8    | 社協      | 34   | 能力     | 19   | 違う   | 13   |
| 達成     | 32   | 環境   | 16   | 使う    | 10   | 実際      | 25   | 提供      | 15   | 記録    | 8    | ニーズ     | 33   | 抱える    | 19   | 会話   | 13   |
| 今後     | 31   | 共有   | 16   | 実行    | 10   | 出来る     | 25   | 深める     | 14   | 言語    | 8    | 業務      | 33   | さまざま   | 18   | 共同   | 13   |
| 社会     | 31   | 対象   | 16   | 場面    | 10   | サービス    | 24   | カンファレンス | 13   | 行なう   | 8    | 関係      | 32   | サポート   | 18   | 強い   | 13   |
| 業務     | 30   | 知識   | 16   | 職種    | 10   | 援助      | 24   | 解決      | 13   | 指定    | 8    | 機関      | 32   | ネットワーク | 18   | 重要   | 13   |
| 自分     | 29   | 入居   | 16   | 食事    | 10   | 自身      | 24   | 概況      | 13   | 送迎    | 8    | 多い      | 30   | 区域     | 18   | 目    | 13   |
| 目標     | 29   | 聞く   | 16   | 深い    | 10   | 制度      | 24   | 区分      | 13   | 中心    | 8    | 知識      | 30   | 生きがい   | 18   | 教室   | 12   |
| サービス   | 28   | 制度   | 15   | 全体    | 10   | 話       | 24   | 今       | 13   | 認定    | 8    | 同行      | 30   | 町      | 18   | 見学   | 12   |
| 見る     | 28   | サービス | 14   | 担う    | 10   | 参加      | 23   | 資源      | 13   | アプローチ | 7    | 自分      | 29   | 把握     | 18   | 子育て  | 12   |

表5 A 大学特徴語

| 施設区分        |      | 施設種別 |      | 1. 実習施設の概況と特徴 |      | 2. 実習の内容 |      |
|-------------|------|------|------|---------------|------|----------|------|
| 障害          | .259 | 介護   | .371 | サービス          | .435 | 業務       | .478 |
| 高齢          | .136 | 生活   | .226 | 法人            | .429 | 週        | .375 |
|             |      | B    | .192 | 活動            | .407 | 拠点       | .368 |
|             |      | 継続   | .172 | 提供            | .400 | 計画       | .357 |
|             |      | 就労   | .158 | 理念            | .370 | 個別       | .349 |
|             |      | 老人   | .130 | 日中            | .350 | 作成       | .344 |
|             |      | 養護   | .083 | 基本            | .350 | 役割       | .320 |
|             |      | 特別   | .083 | 事業            | .345 | 見学       | .316 |
|             |      | ホーム  | .069 | 福祉            | .321 | 内容       | .273 |
|             |      | 従業   | .053 | 社会            | .313 | 学ぶ       | .260 |
| 3. 実習課題の達成度 |      |      |      | 5. 今後の課題      |      |          |      |
| 目標          | .478 | 感じる  | .405 | 今後            | .450 |          |      |
| 実際          | .333 | 伝える  | .364 | 思う            | .300 |          |      |
| 達成          | .333 | 大切   | .360 | 考える           | .273 |          |      |
| 見る          | .321 | 改めて  | .333 | 知識            | .273 |          |      |
| 理解          | .271 | 表情   | .333 | 制度            | .273 |          |      |
| 職員          | .267 | 言う   | .333 | 自身            | .259 |          |      |
| ニーズ         | .267 | 情報   | .308 | 今回            | .250 |          |      |
| 課題          | .265 | 職員   | .302 | 信頼            | .240 |          |      |
| 計画          | .255 | 学ぶ   | .280 | 感じる           | .233 |          |      |
| 実習          | .254 | 考える  | .278 | 課題            | .229 |          |      |



相談援助実習を通して実習生は利用者の権利等を認識し言語化できるようになるのか

表 6 B 大学 1 特徴語

| 施設区分        |      | 施設種別                       |      | 1. 実習施設の概況と特徴 |      | 2. 実習の内容 |      |
|-------------|------|----------------------------|------|---------------|------|----------|------|
| 高齢          | .471 | ホーム                        | .214 | 年             | .923 | 説明       | .533 |
| 医療          | .139 | 特別                         | .200 | 月             | .647 | 訪問       | .500 |
|             |      | 老人                         | .194 | 法人            | .529 | 同行       | .500 |
|             |      | 養護                         | .192 | 地域            | .444 | 業務       | .450 |
|             |      | 病院                         | .152 | 理念            | .385 | 参加       | .444 |
|             |      | 有料                         | .063 | 運営            | .385 | 自宅       | .438 |
|             |      |                            |      | 経営            | .385 | 担当       | .400 |
|             |      |                            |      | 指定            | .385 | 見学       | .385 |
|             |      |                            |      | 開設            | .385 | 発表       | .357 |
|             |      |                            |      | 入所            | .313 | カンファレンス  | .353 |
| 3. 実習課題の達成度 |      | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、学んだこと |      | 5. 今後の課題      |      |          |      |
| 方法          | .421 | 感じる                        | .476 | 思う            | .500 |          |      |
| ソーシャルワ      | .389 | 関係                         | .429 | 今後            | .500 |          |      |
| 役割          | .350 | 大切                         | .412 | 知識            | .429 |          |      |
| 理解          | .333 | 話                          | .389 | 今回            | .400 |          |      |
| 課題          | .333 | 言う                         | .385 | 考える           | .391 |          |      |
| 援助          | .304 | 思う                         | .375 | コミュニケーション     | .333 |          |      |
| 流れ          | .294 | 気持ち                        | .368 | 不足            | .333 |          |      |
| 内容          | .273 | 必要                         | .368 | 身             | .313 |          |      |
| 知る          | .269 | 関わる                        | .353 | 自分            | .296 |          |      |
| 学ぶ          | .268 | 自分                         | .346 | 出来る           | .294 |          |      |

表 7 B 大学 2 特徴語

| 施設区分        |      | 施設種別                       |      | 1. 実習施設の概況と特徴 |      | 2. 実習の内容  |      |
|-------------|------|----------------------------|------|---------------|------|-----------|------|
| 地域          | .168 | 単位                         | .895 | 月             | .455 | 内容        | .433 |
|             |      | 区域                         | .850 | 年             | .455 | センター      | .351 |
|             |      | 市町村                        | .810 | 法人            | .417 | 会議        | .320 |
|             |      | 事務所                        | .773 | 団体            | .375 | オリエンテーション | .316 |
|             |      | 協議                         | .230 | 行政            | .346 | 支援        | .315 |
|             |      | 社会                         | .205 | 民間            | .316 | 介護        | .314 |
|             |      | 福祉                         | .174 | 社協            | .296 | 説明        | .300 |
|             |      | ホーム                        | .046 | 構成            | .286 | 擁護        | .296 |
|             |      | 養護                         | .046 | 組織            | .280 | 権利        | .286 |
|             |      | 小規模                        | .044 | 住民            | .277 | 教室        | .286 |
| 3. 実習課題の達成度 |      | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、学んだこと |      | 5. 今後の課題      |      |           |      |
| ニーズ         | .438 | 思う                         | .516 | 知識            | .520 |           |      |
| 役割          | .438 | 子ども                        | .474 | コミュニケーション     | .457 |           |      |
| 理解          | .412 | 特に                         | .450 | 今後            | .440 |           |      |
| 下記          | .368 | 印象                         | .450 | 身             | .350 |           |      |
| 学ぶ          | .319 | 大切                         | .435 | 思う            | .343 |           |      |
| 課題          | .311 | 聞く                         | .435 | 関わる           | .333 |           |      |
| 知る          | .275 | 残る                         | .421 | 深める           | .321 |           |      |
| テーマ         | .273 | 違う                         | .409 | 積極            | .308 |           |      |
| 実習          | .254 | 職員                         | .405 | 制度            | .304 |           |      |
| 方法          | .241 | 感じる                        | .389 | 考える           | .302 |           |      |

##### 5) 共起ネットワーク：

図 1, 図 2, 図 3 ともに共起ネットワーク分析の結果を示している。

KH ではノード数が大きいほど語彙の使用頻度が多いことを示している。また KH による共起ネットワーク媒介中心性が高い順に濃い灰色（原色＝ピンク）、白（原色＝白）、薄い灰色（原色＝水色）と表示される。

なお分析時には、最小出現数は 20、最小文書数が 1、集計単位は段落等と設定した。さらに品詞による取捨選択は「名詞、サ変名詞、形容動詞、ナイ形容、副詞可能、未知語、タグ、感動詞、動詞、形容詞、副詞、名詞 C」とし、描画数を 60 に設定している。これらを前提として図 1, 図 2, 図 3 の特徴を見ていく。

まず図 1 の分析対象 となった抽出語は 75 語、描画されている抽出語を示すノード (node) の

数は28, 線 (edge) で描画されている共起関係の数は60, 密度 (density) は0.159であった。また, 使用頻度の高い抽出語は「利用」「支援」「実習」等であり, 媒介中心性が高い語は「コミュニケーション」「個別」「関係」等である。

次に図2の分析対象となった抽出語は71語, 描画されている抽出語を示すノードの数は48, 線で描画されている共起関係の数は61, 密度は0.056であった。また, 使用頻度の高い抽出語は「利用」「実習」「学ぶ」「支援」等であり, 媒介中心性が高い語は「実習」「支援」「介護」「相談」「行う」等であった。

最後に図3の分析対象となった抽出語は85語, 描画されている抽出語を示すノードの数は44, 線で描画されている共起関係の数は60, 密度は0.063であった。また, 使用頻度の高い抽出語は「福祉」「地域」「事業」「実習」「社会」等であり, 媒介中心性が高い語は「利用」「コ

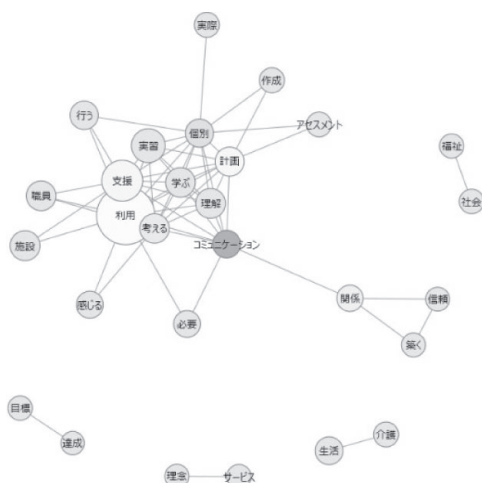


図1 A大学共起ネットワーク

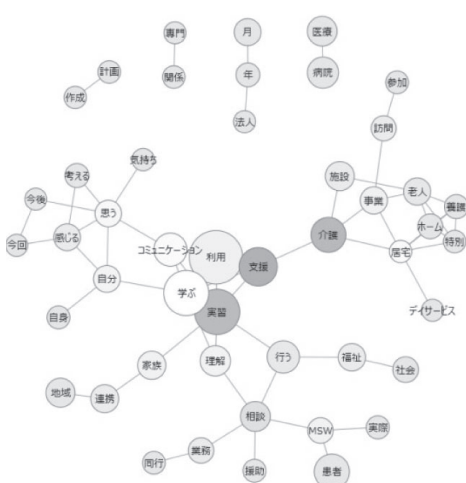


図2 B大学1共起ネットワーク



図3 B大学2共起ネットワーク

相談援助実習を通して実習生は利用者の権利等を認識し言語化できるようになるのか

コミュニケーション」「実習」等であった。

#### 6) KWIC (Keyword in context, 以下 KWIC) コンコーダンス

KWIC は分析対象のファイル内で抽出語がどのように用いられているのかという文脈を探ることができる。この際、必要に応じて特定の品詞や、特定の活用形で出現しているものだけを検索できる。また、抽出語を指定せずに品詞や活用形だけを指定して検索を行うこともできる。

今回は3) の B 大学2 で抽出された語彙のうち「権利」を用いた。「権利」という語彙は、本研究の中でもキーワードとなるためである。

本来は図4にあるような画面において抽出語を入力することにより、結果がわかる。今回は、紙面の制限等のため参考例として掲載する。下記の画面を用いて A 大学と B 大学1 および B 大学2 の各グループにおいて「権利」という語彙が使用されている文脈を探索した(表8)。

表8は実習報告書の記述項目名ごとにわけてまとめている。また各項目の左にある区分は A=A 大学, B1 = B 大学1, B2 = B 大学2 のことを示している。

この表からもわかるように B 大学2 のグループの場合には、「権利」に関する記述が比較的多く出現している。3) でも述べたが、当該グループの場合には社会福祉協議会での実習生が大半を占めており、権利擁護事業や関連する成年後見制度の事業があるためだと思われる。

ただ一つの傾向として『2. 実習の内容』で「権利」に関する記述がある場合、『4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、学んだこと』でも「権利」に関する記述が出現する。また『1. 実習施設の概況と特徴』で「権利」に関する記述がある場合にも、なんらかの形で「権利」に関する記述が出現する可能性が高くなりそうだ。違う視点から見ると今回の表中には出現しなかった項目『3. 実習の課題』の中で実習生によって「権利」という記述に触れない場合でも、実習中に何らかの「権利」を意識することになり、最終的な報告書においても記述できるよう筋道が生じているのではないかと推測できる。

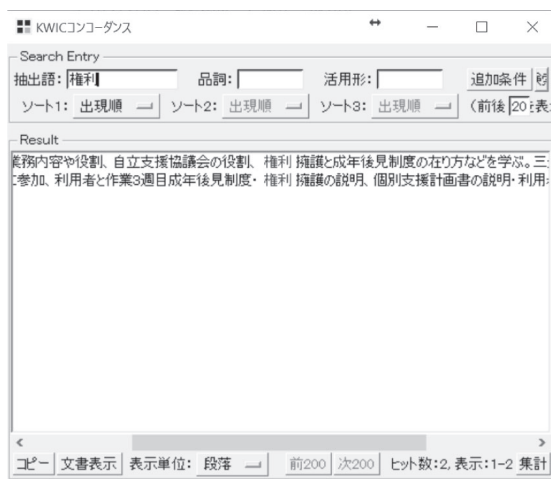


図4 KH による KWIC の使用例

表8 KWIC から見えること（実習施設の概況と特徴群）

|    | 区分  | 内容<br>(1. 実習施設の概況と特徴) | 区分  | 内容<br>(2. 実習の内容) | 区分  | 内容<br>(4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと) |
|----|-----|-----------------------|-----|------------------|-----|--|
| 1  | A   | 1. 実習施設の概況と特徴         | A   | 2. 実習の内容         | B 1 | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと         |
| 2  | B 1 | 1. 実習施設の概況と特徴         | B 2 | 2. 実習の内容         | B 2 | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと         |
| 3  | B 1 | 1. 実習施設の概況と特徴         | B 2 | 2. 実習の内容         | B 2 | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと         |
| 4  | B 1 | 1. 実習施設の概況と特徴         | B 2 | 2. 実習の内容         | B 2 | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと         |
| 5  | B 2 | 1. 実習施設の概況と特徴         | B 2 | 2. 実習の内容         | B 2 | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと         |
| 6  | B 2 | 1. 実習施設の概況と特徴         | B 2 | 2. 実習の内容         | B 2 | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと         |
| 7  | B 2 | 1. 実習施設の概況と特徴         | B 2 | 2. 実習の内容         | B 2 | 4. 利用者・職員と関わる中で感じたこと、<br>学んだこと         |
| 8  |     |                       | B 2 | 2. 実習の内容         |     |  |
| 9  |     |                       | B 2 | 2. 実習の内容         |     |  |
| 10 |     |                       | B 2 | 2. 実習の内容         |     |  |

### Ⅲ. 全国規模の調査から推測できること

本研究で使用した実習報告書は合計 50 名分であった。また A 大学と B 大学 1 および B 大学 2 という教育的な背景や地理的な背景等の環境因子は一切考慮していない。更にそれぞれのグループ内では異なる施設区分（例えば高齢、障害、地域等）で実習を行っている。

そこで本研究とは趣旨が異なるが、全国規模で行われた以下の報告書を引用して若干の考察を行ってみたい。

一般社団法人日本社会福祉士養成校協会（以下、社養協）が受託した、（公財）社会福祉振興・試験センター平成 26 年度社会福祉振興関係調査研究助成金事業「社会福祉士養成新カリキュラムの教育実態の把握と、社会福祉士に必要な教育内容のあり方に関する調査事業」の 2 カ年度目（2 カ年度計画）の研究成果がある（2015）。その中の第 5 章「社会福祉士養成課程に在籍する学生を対象とした調査（学生調査）」では、今回筆者が行ったような実習報告書をテキストマイニングで分析するという手法が用いられている。

当該調査では、社養協の会員校のうち 10 校に協力依頼を出している。最終的に、A 大学（北海道ブロック・通学・四年制大学・私立）、B 大学（東北ブロック・通学・四年制大学・私立）、

相談援助実習を通して実習生は利用者の権利等を認識し言語化できるようになるのか

表 9 2005 年度頻出上位 150 語の抽出語リスト

| 抽出語       | 出現回数 | 抽出語    | 出現回数 | 抽出語  | 出現回数 |
|-----------|------|--------|------|------|------|
| 利用者       | 5897 | 方々     | 633  | 創る   | 380  |
| 実習        | 4937 | 援助者    | 630  | 役割   | 378  |
| 思う        | 4025 | 難しい    | 312  | 気    | 372  |
| 自分        | 3993 | 介助     | 300  | 出る   | 370  |
| 考える       | 3561 | 良い     | 579  | 自己   | 367  |
| 子ども       | 2969 | 積極     | 577  | 本人   | 367  |
| 感じる       | 2716 | 思い     | 571  | 実感   | 362  |
| 職員        | 2412 | 一緒     | 562  | 部分   | 359  |
| 生活        | 2128 | 家族     | 555  | 場    | 354  |
| 施設        | 2110 | 相手     | 555  | 内容   | 353  |
| 行う        | 2005 | 自立     | 549  | サービス | 349  |
| 学ぶ        | 1897 | 学習     | 540  | 業務   | 349  |
| 支援        | 1738 | ケース    | 527  | 社協   | 348  |
| 人         | 1736 | 接す     | 525  | 認知   | 344  |
| 必要        | 1683 | 行く     | 520  | 楽しい  | 340  |
| 理解        | 1550 | 感情     | 516  | 場面   | 340  |
| 大切        | 1491 | 話す     | 516  | 機会   | 339  |
| 見る        | 1370 | 経験     | 511  | 変化   | 338  |
| 援助        | 1346 | 環境     | 498  | 受ける  | 334  |
| 持つ        | 1335 | 把握     | 492  | 体験   | 331  |
| 出来る       | 1332 | 指導     | 490  | 担当   | 330  |
| 気持ち       | 1311 | 分かる    | 490  | 姿勢   | 323  |
| コミュニケーション | 1294 | 不安     | 489  | 深い   | 313  |
| 福祉        | 1147 | 方法     | 488  | 接する  | 313  |
| 関わる       | 1145 | 高齢     | 487  | 一つ   | 311  |
| 障害        | 1139 | 信頼関係   | 482  | 現場   | 311  |
| 多い        | 1134 | 目標     | 481  | 得る   | 310  |
| 地域        | 1131 | 他      | 477  | 立場   | 308  |
| 関係        | 1103 | 介護     | 473  | 勉強   | 306  |
| 児童        | 1090 | 伝える    | 464  | 最初   | 304  |
| 関わり       | 1054 | 意識     | 456  | 抱える  | 302  |
| 知る        | 1051 | 子      | 450  | 心    | 301  |
| 行動        | 1025 | 違う     | 447  | 築く   | 299  |
| 言う        | 957  | 状況     | 443  | 求める  | 298  |
| ニーズ       | 917  | ケア     | 440  | 事前   | 298  |
| 聞く        | 901  | 情報     | 439  | 過ごす  | 296  |
| 自身        | 884  | 捉える    | 432  | 考え   | 293  |
| 話         | 864  | 住民     | 429  | 人間   | 292  |
| 言葉        | 845  | 強い     | 423  | 存在   | 292  |
| 声         | 816  | 食事     | 423  | 深める  | 287  |
| 問題        | 797  | 入所     | 423  | 子供   | 286  |
| 活動        | 796  | 知識     | 422  | 目的   | 287  |
| 社会        | 760  | 会話     | 410  | 観察   | 281  |
| 重要        | 713  | ボランティア | 409  | 姿    | 281  |
| 参加        | 698  | 目      | 405  | 連携   | 280  |
| 相談        | 694  | 様子     | 402  | 家庭   | 279  |
| 対応        | 684  | 視点     | 399  | センター | 276  |
| 様々        | 680  | 状態     | 383  | 振り返る | 276  |
| 課題        | 668  | 気づく    | 382  | 入る   | 275  |
| 作業        | 664  | 仕事     | 381  | 笑顔   | 273  |

出典：（公財）社会福祉振興・試験センター

平成 26 年度社会福祉振興関係調査研究助成金事業「社会福祉士養成新カリキュラムの教育実態の把握と、社会福祉士に必要な教育内容のあり方に関する調査事業（2015）」から筆者作成

表 10 2013 年度頻出上位 150 語の抽出語リスト

| 抽出語       | 出現回数 | 抽出語    | 出現回数 | 抽出語   | 出現回数 |
|-----------|------|--------|------|-------|------|
| 利用者       | 4196 | 視点     | 393  | 職種    | 238  |
| 実習        | 3009 | 社会福祉士  | 389  | 自立    | 237  |
| 支援        | 2970 | 会話     | 388  | 考え    | 231  |
| 自分        | 1958 | 他      | 387  | M S W | 229  |
| 職員        | 1599 | 信頼関係   | 380  | 入所    | 229  |
| 子ども       | 1402 | 良い     | 379  | 食事    | 226  |
| 生活        | 1370 | 意識     | 378  | 場     | 224  |
| 必要        | 1322 | 環境     | 371  | ケア    | 220  |
| 理解        | 1289 | 方法     | 366  | 楽しい   | 217  |
| 施設        | 1244 | 思い     | 352  | 目     | 216  |
| 人         | 1147 | 一緒     | 344  | 機関    | 210  |
| 地域        | 1095 | 状況     | 341  | 表情    | 210  |
| 大切        | 963  | 援助     | 335  | 提供    | 207  |
| コミュニケーション | 907  | サービス   | 329  | センター  | 203  |
| 多い        | 770  | 業務     | 326  | 意味    | 202  |
| 関わり       | 710  | 高齢     | 326  | 観察    | 202  |
| 話         | 696  | 役割     | 322  | 説明    | 201  |
| 障害        | 673  | 経験     | 320  | 体験    | 199  |
| 自身        | 668  | 場面     | 316  | 機能    | 196  |
| 家族        | 659  | 住民     | 314  | 能力    | 196  |
| 気持ち       | 654  | クライアント | 311  | 力     | 196  |
| 行動        | 651  | 把握     | 310  | 訪問    | 193  |
| 言葉        | 645  | 目標     | 310  | 病院    | 189  |
| 声         | 611  | アセスメント | 309  | 目的    | 185  |
| 相談        | 609  | 内容     | 306  | 印象    | 184  |
| 福祉        | 595  | ケース    | 298  | 介助    | 184  |
| 情報        | 586  | 方々     | 293  | 最初    | 184  |
| 関係        | 574  | 作成     | 287  | 存在    | 184  |
| 重要        | 567  | 認知     | 281  | 対象    | 184  |
| ニーズ       | 556  | 利用     | 275  | 制度    | 183  |
| 課題        | 542  | 機会     | 274  | 身     | 181  |
| 活動        | 540  | 積極     | 272  | 一つ    | 178  |
| 児童        | 506  | 自己     | 270  | 一人ひとり | 178  |
| 様々        | 499  | 感情     | 269  | 立場    | 178  |
| 計画        | 491  | 社協     | 269  | 手     | 177  |
| 難しい       | 479  | 不安     | 268  | 面接    | 176  |
| 作業        | 470  | 変化     | 266  | 笑顔    | 175  |
| 社会        | 470  | 担当     | 265  | 確認    | 174  |
| 参加        | 468  | ソーシャルワ | 264  | 技術    | 173  |
| 専門        | 463  | 強い     | 262  | 心     | 173  |
| 知識        | 455  | 介護     | 261  | 日常    | 173  |
| 相手        | 454  | 学習     | 258  | 可能    | 168  |
| 様子        | 437  | 質問     | 257  | 解決    | 167  |
| 患者        | 425  | ボランティア | 255  | 個別支援計 | 167  |
| 連携        | 414  | 部分     | 255  | 事前    | 167  |
| 指導        | 413  | 気      | 248  | 安心    | 165  |
| 対応        | 413  | 現場     | 248  | 価値    | 165  |
| 本人        | 107  | 仕事     | 245  | 少ない   | 165  |
| 事業        | 406  | 状態     | 244  | 身体    | 164  |
| 問題        | 399  | 実感     | 241  | 事例    | 163  |

出典：（公財）社会福祉振興・試験センター

平成 26 年度社会福祉振興関係調査研究助成金事業「社会福祉士養成新カリキュラムの教育実態の把握と、社会福祉士に必要な教育内容のあり方に関する調査事業（2015）」から筆者作成



相談援助実習を通して実習生は利用者の権利等を認識し言語化できるようになるのか

C 大学（関東甲信越ブロック・通学・四年制大学・私立）、D 大学（近畿ブロック・通学・四年制大学・私立）、E 大学（九州ブロック・通学・四年制大学・私立）、F 大学（中国四国ブロック・通学・四年制大学・私立）、G 大学（近畿ブロック・通学・四年制大学・国公立）H 大学（近畿ブロック・通学・四年制大学・私立）、I 大学（関東甲信越ブロック・通学・四年制大学・私立）、J 専門学校（関東甲信越ブロック・通信・養成施設・私立）からの協力が得られたようだ（2005 年度は 972 人（延べ 1,075 人）、2013 年度は 763 人（同 772 人）分の学生による報告内容を分析対象としている）。

特徴としては 2005 年度と 2013 年度のデータが準備されていること、また 10 ブロックから延べ 100 名を超える学生の実習報告書を入手できていることである。

表 9 および表 10 は 2005 年度と 2013 年度の頻出 150 語のリストである。ここで注目しないといけないのが、両表ともに筆者が前項までに見てきたような「権利」に関するキーワードが上がっていないことである。1,000 名を超える規模の実習報告書であっても上位 150 の頻出後として「権利」という語彙は上がってこない。

他の上位に位置している語彙に関しては、筆者が分析した結果とも類似しているのでサンプル的な問題ではないと思われる。

#### IV. 実習生に利用者の権利等を認識し言語化をしてもらうために

今まで見てきたように、実習中の具体的なプログラムとして利用者の権利等に触れることができると、実習報告書への言語化の可能性も高まると思われる。

特に記述項目名にあった「実習課題の達成度」「利用者・職員と関わる中で感じたこと、学んだこと」「今後の課題」のうち「今後の課題」の部分では利用者の権利等に関する記述を求めた項目となる。

図 5 は実習生への促しをキーワードに作図したものである。実習生が利用者の権利等に気づくことは困難なように見えて、実際には見聞きし体験している可能性が高い。それが実習報告書の作成の段階で言語化できずにいるだけであるとも考えられる。そこで実習指導の教員や実習指導者が、利用者の権利等について積極的に認識できるように促すことが一つの解決策につながるのかもしれない。

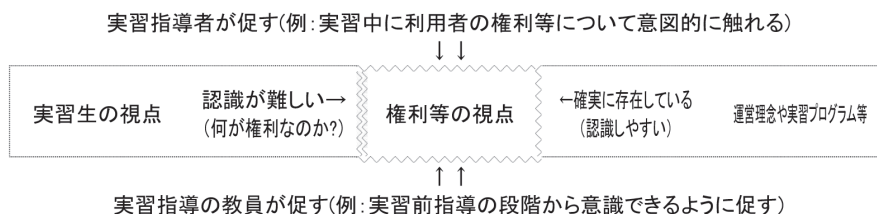


図 5 実習生が利用者の権利等を認識するための例

いずれにせよ利用者の権利等を認識することは重要な事項であり、またそれを促すための教員や指導者からの積極的なかわりは不可欠な要素となりうる。

## V. まとめと課題

本研究では、相談援助実習を終えた実習生が作成する実習報告書をテキストマイニングによって機械的に探索を行った。その結果として、実習生は利用者の権利等に関して言語化することに一定の限界があることを見出した。実習中のプログラムとして利用者の権利等に触れることができた場合には、言語化の可能性が高くなっていた。このようなことから、利用者の権利等に触れる機会を意図的に設定することが大切であると考えられた。

テキストマイニングの手法により実習生の認識の一端が明らかになったが、具体的な解決策を提示するまでには至っていない。その要因としては、実習報告書という限られた分析対象のみを利用したことが原因の一つであると思われる。また後述するように、利用者の権利等に関して具体的な概念化を行っていないことも原因の一つと考えられる。

社会生活を行う上で他者の権利等を認識するのは、ある意味で呼吸をするのと同様に自然な所作といえる。社会福祉士目指す実習生の段階では、自然な所作から意図的に認識することも援助技術の一つである。養成科目の中で利用者の権利等を学ぶ機会が設定されているのであれば、相談援助実習の段階でも考察、検討を行う必要性が生じるのではないだろうか。将来的に社会福祉士を活かした専門職に就くかどうかは、実習生の権利である。しかし、社会福祉士を活かして専門職に就いた段階では、権利を主張する者から利用者の権利等を擁護する義務を帯びた者へと変化するのである。

具体的な行為や具体的な内容については認識することは比較的容易であるが、利用者の権利等のように可視化困難な内容については意図的に認識することが求められる。

本研究では、あえて利用者の権利等という広範な概念を用いることで実習報告書を分析した。分析対象となった実習報告書はサンプル数の少なさもあり障害や高齢、地域等の分野を統一せずに行ったのも一因である。通常、利用者の権利等を論じる際には、例えば子どもの権利や高齢者の権利、障害者の権利というように属性を統一することが一般的であることを付言したい。属性を統一することで、独特の権利性に触れながら認識している内容についても論じることが可能となる。ただし、属性を統一した際にも、少なくとも法学的な視点や社会学的な視点で論じることができるのも事実である。いずれかの部分で区分して論じることにより、明瞭な概念を見出すことができるのも事実であるため、今後の課題としていきたい。

またテキストマイニングの手法を用いて、利用者の権利等に関する用語の出現数を把握した意図としては、言語化された内容を可視化することで実習生や実習指導者、教員に客観的な判断材料を提供する一手法と考えたからだ。勿論、これらのことを一定水準で具体化するためには、誰もが利用できるという環境面での充足が前提となる。同様に社会福祉士の価値観に関すること、

技術に関することなども可視化の対象と考えられる。もし言語化されていないということは、テキストマイニングにより可視化の対象とならない可能性が高い。相談援助実習の指導には、最終的に評価的な手続きが前提となっている。評価するためには、それまでに効果的な指導を行うことが前提となり、漠然とした指導を回避するための方法として当該手法を用いることは有効であると思われる。

今後は、実習前、実習中等で作成する事前学習教材やレポート、そして日誌等にまで視野を拡大し実習生が有している利用者の権利等に対する認識の枠組みを多角的に分析していきたい。

## 謝辞

実習報告書という貴重な資料を研究のために提供いただきましたことに、感謝しております。

## 注

- 1) 厚生労働省 (2008)「社会福祉士及び介護福祉士養成課程における教育内容等の見直しについて—I 見直しの全体像」[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/seikatsuhogo/shakai-kaigo-yousei/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/shakai-kaigo-yousei/index.html) (2015.10.1)
- 2) 本研究では施設の入居者、通所者そして様々な福祉的課題を有している者等を総じて利用者と呼ぶことにした。
- 3) 社会福祉士養成課程で履修する次の科目の中では、想定される教育内容の例として『人権』というキーワードが用いられている (相談援助の基盤と専門職、地域福祉の理論と方法、権利擁護と成年後見制度)。
- 4) また『権利』というキーワードを想定される教育内容の例の中に用いられている科目は以下の通りである (相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、地域福祉の理論と方法、児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、低所得者に対する支援と生活保護制度、権利擁護と成年後見制度、相談援助演習、相談援助実習)。
- 5) 本論では、利用者の有しているであろう権利性を総称して権利等とした。従って権利等の中には利用者の尊厳、尊重や人権等の幅広い意味合いを有している。人間の認識として何をもって“権利”としているかは、受け手側の生育歴や環境、思考方法等によって変化することが想定できる。また利用者が成人なのか、未成年なのかという年齢的な因子によって発生する権利や法的な規定によって生じる権利、社会的な習慣によって生じる権利など発生要因もさまざまである。本研究では、利用者の権利等という広範な概念を実習生 (受けて側) がどのように認識しているのかをテキストマイニングという単純な手法を用いて可視化することに目的の一つとしたため、詳細な検討を行えていない。今後の課題として権利等に関する個別具体的な検討を行い、何が利用者の権利等としていくのか、そしてどう担保していく必要があるのかを考えていきたい。
- 6) 本研究では特定の福祉領域における利用者を想定していない。従って利用者等という表現を用いる。
- 7) 例えば 2004 年度に文部科学省から出された「人権教育の指導方法等の在り方について [第一次とりまとめ]」などでは、人権教育の恒常的な取組の重要性を示している。続く第二次 (2006)、第三次 (2010) と継続的に提出された。
- 8) 樋口 KH Coder (2015) <http://khc.sourceforge.net/> (2015.10.31)。

## 文献

秦季之・堀井梢・松島裕貴・庚瀬順造・小野行雄・佐藤英治・吉富博則 (2013)「テキストマイニングによる薬学実務実習日誌の解析」『薬学雑誌』, 691-701.

- 一般社団法人日本社会福祉士養成校協会受託事業（2015）（公財）社会福祉振興・試験センター 平成26年度社会福祉振興関係調査研究助成金事業「社会福祉士養成新カリキュラムの教育実態の把握と、社会福祉士に必要な教育内容のあり方に関する調査事業」, 259-292.
- 村上信・三富道子・伊藤桜（2000）「利用者理解を促進するための実習指導プログラム—人権や人間の尊厳を大切にする視点から—」『介護福祉学』7（1）.
- 村田紋子（2012）「『社会的養護内容』における学習上の留意点について～施設実習を目指した『子どもの権利』の理解～」『小田原女子短期大学研究紀要』第42号, 29-38.
- 長野徹・武田浩一・那須川哲哉（2000）「テキストマイニングのための情報抽出」『情報学基礎』60-5, 31-38.
- 大瀧ミドリ・高橋裕子・吉澤千夏・今村聡美（2009）「テキストマイニングによる教育実習体験の分析」『東京家政大学研究紀要』第50集（1）, 63-70.
- 大和田猛・加賀谷真紀（2008）「社会福祉援助技術現場実習生から見た特別養護老人ホーム職員のレジデンシャルワーカーとしての専門職資質をめぐる若干の課題—学生の自由記述による具体的把握を通して—」『青森保健大雑誌』9（2）, 109-122.
- 山本克司（2011）「老人福祉施設における関係者の人権意識から考察する人権の法的問題点への対応—老人福祉施設における関係者の聞き取りを参考にして—」『人間関係学研究』第17巻第2号, 1-11.
- 吉村澄佳・尾原喜美子・村上歩・濱田佳代子・小松輝子・石上悦子・池内和代（2014）「看護学生が実習をとおして学んだ『子どもの権利を守る看護』—“説明と同意”に焦点を当てて—」『高知大学看護学雑誌』55-63